

様式2 (計画用)

「越前市工芸の里構想 (案)」に関するパブリック・コメント結果

案件名	越前市工芸の里構想 (案) について							
実施期間	平成27年4月1日～平成37年3月31日まで							
趣旨	越前市の伝統産業の特性を生かし、伝統工芸の振興策について新たな方向性を示すとともに、各産地の連携により交流人口の拡大を進め、地域振興を図る。							
意見提出者数 (件数)	1 (1件)							
		20代	代	代	代	60代	未記入	合計
	男性	1				1		2
	女性					1		1
	未記入							
合計	1				2		3	
意見に対する回答	以下のとおり							

No	年齢 性別	該当する箇所	ご意見の要旨 (原文)	越前市の回答
1	20代 男性		<p><b>1 「南越まちなかアトリエ」機能</b> ・南越地区の伝統工芸の中核として製作・展示・販売を担い、製作者と一般市民や観光客との交流の場とする。</p> <p><b>2 外部デザイナーや有名ブランドとの共同での新商品開発</b> ・伝統工芸の技術を現代の生活様式の中で活かすため、外部のデザイナーや有名ブランドと共同で製品を企画・製作するよう、推進する。</p>	<p>1 工芸の里構想 (案) では、タンス町通りを産地全体の展示場として機能強化を図るため、ギャラリー空間のリニューアルにより街並みの景観の魅力を高め、また越前クラフトに関するギャラリー、ショップや飲食店を増やす構想を盛り込んでおり、中心市街地の場の魅力向上やまちなか賑わい創出に繋がり、さらに各産地をつなぐ魅力的な拠点づくりを進める検討をいたしております。</p> <p>ご提案いただいた「南越まちなかアトリエ」機能に合致するものと考えております。</p> <p>2 工芸の里構想 (案) では、産業振興策として商品開発・販路拡大の推進を記載しており、例えば伝統的産業品とデザイナーのコラボレーションとして、作り手、又は経営者が自らの企画で新商品を開発し、そのデザインをデザイナーに依頼するな</p>

様式2 (計画用)

			<p>3 「たけふ菊人形」を伝統美の祭典に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊人形に上記の伝統工芸を加え、南越地区の伝統工芸やアートの展示を中心としたイベントの企画を推進する。</li> </ul>	<p>ど売れる商品づくりを進めることを検討しております。</p> <p>3 ご提案いただいた伝統工芸やその伝統美等の紹介する催事や展示実施につきましては、たけふ菊人形まつり実行委員会と協議してまいります。</p>
2	60代女性		<p>武生駅のホームにある刃物で造った「龍」をもっと活用して宣伝に使って下さい。県外から来た様々な人々は「龍」にビックリしてシャメを取っていました。地元の方は、見向きもしません。宝は地元の人には分からないのですね。</p>	<p>刃物で造った「龍」は、越前市の玄関であるJR武生駅に設置し、観光客をはじめ利用者に対してPRを図っているところで</p> <p>越前市工芸の里構想(案)では、越前打刃物は、国内ばかりではなく、海外販路を確立するなど振興策を検討しております。</p> <p>また、工芸の里構想では、伝統工芸の市民への浸透による豊かな暮らしを目的として、学校教育における伝統工芸の取入れや日常生活における伝統工芸の浸透、新庁舎建設における伝統工芸の活用など検討しています。</p>
3	60代男性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの項目も、これまでの施策の反省や成果に対する評価がされていない。</li> <li>・〇〇づくり、や〇〇します、には、具体的な計画や案が期待できない。</li> <li>・工芸の里構想の全体構成については、各章の羅列のみであり、構想自体も文章だけですか？と聞きたい。</li> <li>・各分野の経験者や若い市民の声を本気で取り入れる仕組みを考えてください。</li> </ul>	<p>市工芸の里構想の策定に当たりましては、専門家、学識、市民公募などで構成する策定会議をはじめ、各産地組合や専門家へのヒアリング・意見交換会、仁愛大学の学生や40歳未満の市民の方々に集まいただき自由活発な意見交換など、現在までに20を超える会議等を行ってまいりました。</p> <p>ご指摘にあります施策の評価につきましては、策定会議や各産地での意見交換会でも重要な視点であると議論されておりますが、各々の事業の評価が不十分であるこの指摘も受けている</p>

様式2 (計画用)

				<p>ところであります。 構想の実現・推進に当たりましては、各産地の若手をはじめとした職人の意見を取り入れ、また、市民が市伝統工芸を誇り市民生活に浸透していくような仕組みを考えていきます。</p>
--	--	--	--	--